

医療連携室だより 第16号

平成 19 年 1 月発行

公立置賜総合病院医療連携室

☎0238-46-5000 内線 1901, 1902



当院における脳卒中統計、その一部の紹介

診療部長 金城利彦
(脳神経外科)

新年おめでとうございます。当院は 2000 年 11 月 1 日の開院以来 6 年を過ぎ、7 年目を迎えました。病院のホームページ(ご覧になったでしょうか)に山口医療監(院長)が地域医療連携についてふれておられますが、脳神経外科では開院以来一貫して急性期脳卒中患者をみています。脳卒中を疑ったら当科にご連絡下さい(休日、夜間も救命センターでみます)。

開院から 1 年たった時に当科における診療実績(治療成績)を地域の先生方に報告したいと考えていたところ、坪井初代院長、新澤教育研修部長(現県立日本海病院院長)の努力で 2001 年 11 月に開院 1 周年記念講演会が開催され、当科からも発表いたしました。それ以来、毎年報告してきましたが、これまでの演題は以下の通りです。1 開院から 1 年間の脳神経外科入院 616 例の検討(2001 年) 2 開院から 2 年間の急性期脳卒中入院患者の検討(2002 年) 3 慢性硬膜下血腫 102 例の検討(2003 年) 4 家族性、新生動脈瘤の 2 症例(2004 年) 5 開院以来 5 年間の脳卒中入院全症例の検討(2005 年) 6 未破裂脳動脈瘤、今後の問題点—特に高齢者への対応について—(2006 年)。このように脳卒中に関して急性期の外科的、内科的治療を行ない、さらにリハビリテーションをみてきて勉強になったこと、気がついたことなどについてぜひ地域のみなさんにお伝えしたいと考えています。

そのごく一部を紹介します。当病院組合の母体である長井、南陽、川西、飯豊の 2 市 2 町において脳卒中の発症頻度を出血性脳卒中(脳出血、くも膜下出血)と閉塞性脳卒中(脳梗塞)に分けて比較すると、飯豊町が出血性脳卒中の比率が 34.5%と高くなっていました。長井市(28.6%)、南陽市(29.8%)、川西町(27.1%)ではほぼ同様でした。くも膜下出血に限ってみると人口 10 万あたりの 1 年間の発症率は飯豊町が 48.3 人ととびぬけて高くなっていました(長井市 31.8 人、南陽市 27.9 人、川西町 32.0 人)。この違いがどこからくるのか、飯豊町民で当院職員の何人かにきいてみると塩分の多い食生活のせいではないかとの感想がありました。くわしく調べるべきかとも思いますが、脳卒中の危険因子はほぼわかっており、それに対する指導をさらに強化すべきだと考えます。

以下は日本脳卒中協会の作った脳卒中予防の十カ条です。「1. 手始めに 高血圧から 治しましょう 2. 糖尿病 放っておいたら 悔い残る 3. 不整脈 見つかれば すぐ受診 4. 予防には タバコを止める意志を持って 5. アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒 6. 高すぎる コレステロールも 見逃すな 7. お食事の 塩分、脂肪 控えめに 8. 体力に 合った運動 続けよう 9. 万病の 引き金になる 太りすぎ 10. 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ」(日本脳卒中協会 2003 年)。

脳卒中は予防が大事で、大切な脳を守りましょう。そして不幸にも脳卒中になった場合にはできるだけ早く専門的な集中治療を受け、その後は再発予防に努めるように患者さんへの指導をよろしく願います。

診療科紹介 VOL.1 内科(消化器)

当院消化器科の常勤医は10名で、診療体制はチーム医療としております。

外来は月曜日から金曜日まで毎日、午前中2名で行っております。一般検査は、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査、超音波検査を毎日行っています。

特殊検査としましては、消化管および胆膵系超音波内視鏡(主に火曜日と金曜日)、内視鏡的膵胆管造(火曜日・木曜日の午後)を行っております。

また、治療内視鏡(消化管出血の止血術、胃・大腸の内視鏡的ポリープ切除術、早期癌の粘膜切除術、食道静脈瘤硬化療法、総胆管結石の内視鏡的治療、悪性胆道狭窄の内視鏡的治療など)や超音波を使った治療(肝生検、肝癌のエタノール注入療法やラジオ波焼灼療法など)も積極的に行っております。

今後もさらに医療連携に努めてまいりますので、宜しくお願いいたします。



置賜広域病院組合の患者動向(平成18年4月～平成18年12月)

(1日平均外来患者数)

(単位:人/日)

区分	公立置賜総合病院			サテライト医療施設				合計	飯豊診療所	(参考) 総計
	一般	救命救急センター	計	長井病院	南陽病院	川西診療所	計			
平成18年 4月	946.7	66.4	1,013.1	241.1	236.1	98.7	575.9	1,589.0	44.4	1,633.4
平成18年 5月	971.0	75.7	1,046.7	250.2	239.8	85.4	575.4	1,622.1	46.1	1,668.2
平成18年 6月	938.8	63.5	1,002.3	230.1	220.5	87.5	538.1	1,540.4	42.8	1,583.2
平成18年 7月	981.1	65.7	1,046.8	249.7	242.5	92.2	584.4	1,631.2	45.6	1,676.8
平成18年 8月	955.2	67.5	1,022.7	222.7	217.7	89.0	529.4	1,552.1	43.7	1,595.8
平成18年 9月	960.3	64.2	1,024.5	237.9	223.2	91.7	552.8	1,577.3	49.3	1,626.6
平成18年 10月	955.9	58.6	1,014.5	239.0	235.7	86.2	560.9	1,575.4	47.1	1,622.5
平成18年 11月	964.7	62.4	1,027.1	244.0	249.1	100.5	593.6	1,620.7	60.6	1,681.3
平成18年 12月	958.0	63.3	1,021.3	241.0	247.3	97.9	586.2	1,607.5	55.1	1,662.6
累計平均	958.8	65.3	1,024.1	239.1	234.2	92.0	565.3	1,589.4	48.1	1,637.5

(1日平均入院患者数)

(単位:人/日)

区分	基幹病院				サテライト医療施設					合計
	公立置賜総合病院		救命救急センター	計	長井病院			南陽病院	計	
	一般	精神			一般	精神	計			
ベット数	480	20	20	520	50	60	110	50	160	680
平成18年 4月	461.8	17.1	15.0	493.9	44.5	54.8	99.3	49.0	148.3	642.2
平成18年 5月	450.4	18.2	16.5	485.1	43.7	51.1	94.8	49.8	144.6	629.7
平成18年 6月	452.1	17.1	14.2	483.4	48.2	51.2	99.4	49.1	148.5	631.9
平成18年 7月	438.1	14.4	14.3	466.8	45.9	55.1	101.0	50.3	151.3	618.1
平成18年 8月	458.3	15.7	15.1	489.1	45.4	55.0	100.4	46.5	146.9	636.0
平成18年 9月	460.6	18.3	15.2	494.1	47.7	51.2	98.9	49.0	147.9	642.0
平成18年 10月	463.3	16.5	16.3	496.1	49.0	51.0	100.0	49.2	149.2	645.3
平成18年 11月	457.6	12.9	17.0	487.4	48.7	54.8	103.5	48.6	152.1	639.5
平成18年 12月	431.3	18.5	14.9	464.7	49.0	57.6	106.6	47.6	154.2	618.9
累計平均	452.5	16.5	15.4	484.4	46.9	53.5	100.4	48.8	149.2	633.6

【外来患者数】

基幹病院は、救命救急センターも含めて、1日平均 1000 人を超えて当初見込みのとおりで推移しております。延べ患者数の市町村別割合は、長井市27%、南陽市22%、川西20%、飯豊町9%で当院の構成団体市町で約8割弱を占めております。構成団体以外で約2割を占めており、その内訳は、米沢市3%、高畠町6%、白鷹町6%、小国町5%、その他県内と県外で2%となっております。

一方、サテライト医療施設は当初見込みの患者数を下回っております。

【入院患者数】

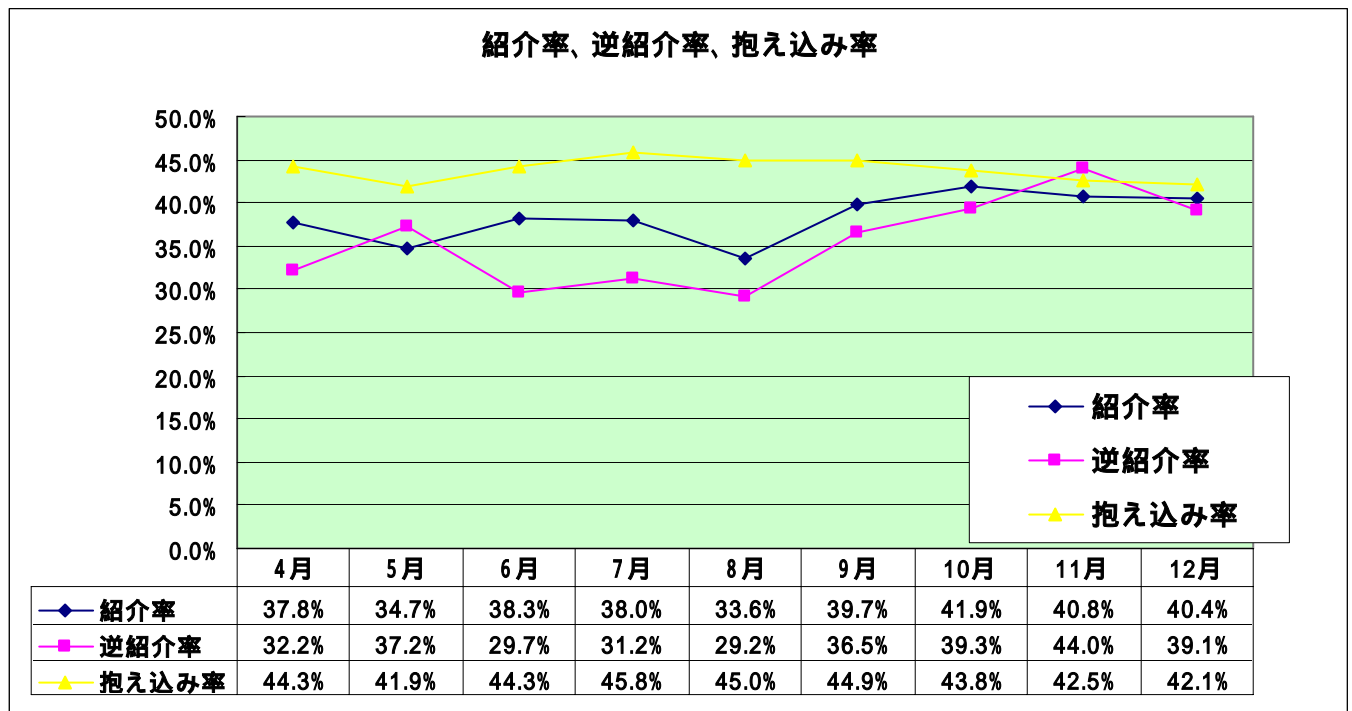
基幹病院は、患者数が当初見込みをわずかですが上回って推移しております。延べ患者数の市町村別割合は、長井市24%、南陽市25%、川西15%、飯豊町8%で当院の構成団体市町で約7割強を占めております。構成団体以外の内訳は、米沢市5%、高畠町7%、白鷹町7%、小国町6%、その他県内と県外で3%となっております。

また、サテライト医療施設の長井病院と南陽病院は、当初見込みの患者数を上回っておりますが、前年度からはやはり減少傾向であります。



当院の紹介、逆紹介、抱え込み率の現状について

おかげさまで持ちまして紹介率は順調に30%台後半、最近3ヶ月は40%越えて推移しております。逆紹介率も紹介率の伸びに合わせて徐々に伸びてきておりますが、抱え込み率も高くなっていることが気になります。今後も、逆紹介をどんどん推進して行きたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いたします。



紹介率 = [(紹介患者数+救急車搬送患者数) / (初診患者数-休日,時間外の6歳未満の患者数)] × 100

逆紹介率 = [患者数 (診療情報提供料算定分) / (初診患者数-休日,時間外の患者数)] × 100

抱え込み率 = [(紹介患者-逆紹介患者) / 紹介患者] × 100

第3回置賜広域病院組合登録医総会が開催されます。

日時：平成19年2月23日（金）午後6時30分から

会場：公立置賜総合病院 2階大研修室

セッション1

医療連携室・診療情報管理室からの統計報告

報告者：医療連携部長 山田 昌弘



セッション2

パネルディスカッション『寝たきり患者さんの医療連携について』

(1)各施設からの現状報告

パネリスト 介護老人保健施設 リバーヒル長井 施設長 飯野 正典 先生

〃 川西湖山病院 地域医療連携室長 乾 清重 先生

〃 南陽市 安日クリニック 院長 安日 新 先生

〃 公立置賜総合病院 診療部長 鶴飼 克明 先生

(2)討論

座長 公立置賜総合病院 医療連携部長 山田 昌弘

総合病院の上手な利用の仕方

紹介状をお持ち下さい

かかりつけ医の先生からの紹介状をお持ちいただきますと、今までの治療経過を活かして当院の診療がスムーズに行えますので、ご協力をお願いいたします。

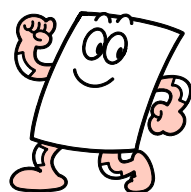
また、かかりつけ医の先生からあらかじめ連絡をいただき、来院日の調整(外来予約)をすることにより、当日は待ち時間も少なく受診が可能となります。

紹介をいただき、当院での検査や治療が終了しましたら、今度は当院からかかりつけ医の先生に治療経過を報告し、その後のかかりつけ医での治療に役立てます。

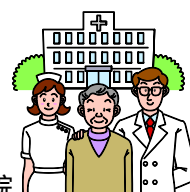
このように紹介状がかかりつけ医と当院の架け橋となり、より適切な医療を受けられるようになります。

予約センターの受付時間は、月曜から金曜までの8:30から17:00までです。

予約センター FAX0238-46-5722 TEL0238-46-5700



紹介状



公立置賜総合病院